



2015年(平成27年)1月度 理事会 議事録

【日時】2015年1月17日(土) 9:30開始 - 12:20終了

【場所】JSPE 溜池事務所 および スカイプ、電話

【出席者】16名 (●スカイプ 6名、▲電話 1名 含む)

(理事) 川村、●阪井、西川、土屋、岩下、野本、山浦、森山、●柴山、●寺田、●小口、鈴木、●渋谷

(監事) ●竹政、▲植村 (オブザーバ) 橋口

【欠席者】森口、村瀬 ()は議決権を委任する理事

【審議事項】

1. 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:野本 承認者:川村、西川、鈴木

2. 前回までの理事会からの宿題事項確認

会員サイト改善、WECC2015 投稿、メンタリング活動展開、協力団体募集開始、大学への制度 PR、シラバス評価支援手順フロー図、未納会費フォロー、JPEC 対応(支援)。

3. 入退会承認 (会員部会)

【新入会員】	【退会者】
PE-0231 関口 毅 様 PE-0232 フェン チェン様 PN-0133 町田 雅志 様 PN-0134 坂平 昌浩 様 PN-0135 一町 直樹 様 PN-0136 伊藤 睦高 様 FE-0400 柚原 誠 様	FE-0236 志村 正之 様 FE-0289 早川 洋平 様 FE-0352 九鬼 弘平 様 → 4 項へ
【資格変更】	【資格喪失】
ST-0009 金子 哲也 様 (←AF-0063)	なし
【資格回復】	【その他】
なし	なし
【会員数】	
11 月度理事会後 PE 166 名 準 PE 73 名 FE 112 名 AF 28 名 ST 3 名 合計 382 名 1 月度理事会後 PE168 名 準 PE 77 名 FE 110 名 AF 27 名 ST 4 名 合計 386 名	

4. 退会承認手続きについて

現時点で 2 名 (小林様、西山様) の退会申し出者あり、会費納入状況確認中であること会員部会より報告。会費完納者については年度末までに退会を認めるとともに、これまでの JSPE 活動への参画に対する御礼としての会長メッセージを伝えることとした。

5. 会員名簿管理について …資料 05 (JSPE14-031)

会員からのウェブ上あるいはメールでの情報更新連絡の会員名簿への反映が漏れる事例あったため、総務部会が会員部会を支援して名簿情報の更新、更新要領の確立に取り組んでいることを報告された。年末の会員DBログイン方法改善時に広報部会でも情報整理を行っているため、4 月の年会費請求までに名簿情報と会員DB情報との突き合わせを行うことを確認した。

なお、会員区分変更が会員DB上の電子申請とできないか?との要望もあった。



6. PE/FE 制度の国内PR強化について

CBT 化後の FE 受験者数低調や、受験者が特定の大学や企業に依然として偏っている現状を踏まえて、PE/FE 制度の良さを国内でPRする活動を今一度見直していきたいとの会長意向が表明された。

これに関連して各部会での取り組み状況や見直し策などを次のとおり申し合わせた。

6-1. 国内大学への PE 制度関心アンケートについて …資料 01、03 (JSPE15-001)

ウェブサイト上で FE 試験などに触れている国内計 13 の工学系学科にあてて、PE 制度に関心があるか？ JSPE の出張説明を希望するか？とのアンケートを郵送したが、回答数件、出張説明希望ゼロという状況であり方向修正が必要であると小口理事より説明された。

これに対し会長からは、国による大学認証プロセスの強化といった事情から、表向きグローバル化を掲げている各大学も国内の資格取得を優先する傾向があるようだ。このため、国の工学教育認証プロセスが実は国際条約を通じて FE 試験や PE ライセンスとも間接的に接続しているという筋書きをアピールするようにはどうかという提案があった。

また現在某大学において FE 試験奨励講座を実施中の渋谷理事からは、上記の事情もあって国内大学・学科に正規ルートで接触するよりも、FE/PE に個人的に関心を持つ教員を見つけて接触する方がアプローチとしては効果的ではないかとのコメントがあった。

1 月 19 日に予定されている国立八戸高専への FE 受験奨励説明資料が参考までに紹介された。

6-2. PE 登録のためのシラバス評価支援サービスについて …資料 02

小口理事より、これまでに評価支援サービスを受けた 5 名の会員全員が NCEES CE 評価をクリアし、無事州 PE 登録手続きに進めたこと、およびサービス実績を踏まえた作業フローチャートを整理したことが報告された。フローチャートについては、広報部会にてウェブサイトへの掲示を検討することとした。

なお、より多くの PEN,FE 会員にこのサービスを活用してもらうには何が課題か？との問いかけが会長よりあった。これに対し、次の指摘と提案があり、具体化を検討することとした。

- (1) オレゴン州独自の規定である「PE 試験合格後 5 年以内に登録申請を完了」を折に触れ取り上げてきたが、これが他の州にも共通と誤認されている可能性もある。昨年 8 月の NCEES Model Law 改正は試験合格と PE 登録審査とを独立して扱っていく方向性を示しているとも言え、今後は「試験合格から何年経過しているかに関わらず、経験記述などさえしっかり書ければ PE 登録が可能」と言うようにした方がよいだろう。
- (2) PE 受験の時点で州登録にあまり関心が無かった人も多いただろう。そうした方々には PE 登録の価値をあらためて見直して訴えていくことも必要だろう。
- (3) 国内の工学教育認証 (JABEE 等) があれば PE 登録のためのシラバス評価は不要であるとなるのが本来の形であり、まずはその実例を見出して例示できるようにしていきたい。

6-3. 年間行事予定について …資料 04,07,08 (JSPE15-002)

CPD セミナー、受験登録セミナー、鬼金セミナーおよび第 2 回 JSPE Day の年間予定表 (資料 04) が企画部会・教育部会より提示された。また渉外部会より 2 回目の三重大学向け FE 試験説明講義を 4 月に実施する見込みであることが報告された。

これら各行事予定については今後次のように調整、具体化していくこととした。

- (1) 受験登録セミナーについては 3 月に加えて 8 月も実施する方向で JPEC 状況も見ながら調整する
- (2) 鬼金セミナー (PMI 認定コース) については、今年度のように同じ講座を東京と神戸で 2 回開催するのではなく、スカイプで東京と神戸をつないで同日開催とすることで、他行事への日程圧迫を少なくする (資料 07,08)。なお PMI より distance learning ではなく classroom (対面講座) とすることが求められているので、副会場にも副講師を置くことを検討し、教育部会からの副講師参画を検討する。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

- (3) 現状 4 月 11 日に CPD セミナー(東京)と鬼金セミナー(神戸)とが重複しているので、合流を検討する。
- (4) 6 月総会の特別講演について、来日予定の NSPE ナティウク会長にお願いしたいとの会長提案があり渉外部会からナティウク会長に講演打診することとした。
- (5) 監事より、国際人育成要請に応えた英語でのセミナー、英語でのディスカッション等も企画すればよいのではないかと助言があった。

6-4. メンタリング活動の展開について

年末に起動したメンタリング活動を具体化して進める会合を、東京、北関東、東海、関西、中国・四国等の各地域で開催する方向で会員部会を中心に検討することとした。

6-5. ウェブサイトの整理、改善

広報部会より次の各情報揭示、情報整理を行っていくことが報告され、トップページが複雑になりすぎないことを条件として了承された。

- (1) シラバス評価支援サービスについて、サービス受け者の経験談や感想、およびサービス作業フローを掲示する
- (2) メンタリング活動について、メンターPE リストを会員サイトに掲載し、会員および一般に広報する
- (3) 年末より受入れ開始した協力団体より、現状提供情報以外の情報も希望するかを調査し、提供可能な情報であれば追加提供する。また協力団体募集をウェブサイトに掲示する。
- (4) CPD セミナーについて、過去のセミナーコンテンツの会員ページへの掲載を検討する
- (5) PE 受験登録セミナー類の開催予定がウェブサイトのトップ画面から分かるような掲載方法を検討する
- (6) やりかけになっている英語パンフレット、日本語ページの古い情報の見直し、PE 受験登録に興味のある方にもメンタリングの紹介などを進めていく。

また、FE/PE 教材情報や、退会した人も再入会できるということも、なんらかの形で掲載しておくニーズはあるのではとの提案があった。

6-6. JSPE ウェブサイトの情報追加および整理 …… 資料 06

会員サービス向上の一環として、①会員サイトログインにメールアドレスも使用できるようになった ②会員サイト内コンテンツへのリンク動作が円滑になった ③会員 DB 中の検索文字化け修正(文字コード修正)が年末に実施されたことが資料 06 により広報部会より報告された。

7. 役員改選手続きの確認

今年(奇数年)は役員改選年であり、3 月理事会までの要処置事項を細則 4.1.1 項に沿って次のとおり確認した。

- (1) 新役員の公募を 1 月末までに発信する。役員業務抱負書と会員 1 名以上からの推薦状を求める。
- (2) 現役員のうち、次期も継続する者は役員業務抱負書を、今限りで退任する者は引継書を今月末までに提出する。なお現時点で土屋理事は 10 年満期で退任する他、2 名の理事が一身上都合により退任の意向。
- (3) 3 月期理事会では、次期の組織、理事役割分担、予算を審議できるようにする。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

【報告事項】（報告希望事項と提議者・部会名を記載のこと）

1. ワシントン DC PE 協会からの提案への対応状況

11 月、ワシントン DC PE 協会から日本大使館での交流イベントを開きたいとの打診があり、会長が対応中であることが報告された。

【次回理事会予定】 2015 年 3 月 21 日(土)

【議事承認印】

承認	川村 武也	
承認	西川 理	
承認	鈴木 央	
書記	野本 泰之	